

○効果的・効率的な水質調査地点や期間の検討

「水環境モニタリングの最適化に関する解析モニタリング」(2008年－2010年)

コーディネーター:佐藤 祐一

琵琶湖の水質にかかる定期調査について、これまでの調査結果や琵琶湖流域物質循環モデル等を活用して評価・解析し、琵琶湖の水質を管理する上で、より効果的・効率的な調査地点・期間等を検討します。また、検討結果を検証するための琵琶湖水質調査を実施するとともに、運用する上での方法や課題について検討します。

研究の概要

現在琵琶湖では、環境基準点 11 地点を含む 47 地点において、月1回(鉛直方向については 3 地点月2回)の定期観測が行われています。

しかし、琵琶湖の水質状況を的確に把握することができるのか、あるいは、適切な施策立案と実施、対策効果の評価に十分活用できているのかということの検証を行っていく必要があります。

ここでは、現在設定されている平面的な調査地点の妥当性について検証し、琵琶湖の水質管理上、より効果的・効率的な調査地点、期間等についての検討を行います。

